



令和8年度 浜松聴覚特別支援学校 グランドデザイン

学校教育目標 「たくましく 心豊かに」

～言語力を向上させ自分のよさや可能性を最大限に伸ばし、

「共生・共育」社会を実現する担い手として自ら考え、判断し、実践できる人を育てる～

【 目指す子ども像 】

○自ら人とかかわり、思いやりのある子

○自ら考え、判断し、表現できる子

○自ら心と体を鍛える子

○自ら遊び、自ら学習する子

○人や状況に、しなやかに対応できる子

【 令和8年度の目標具現化の柱 】

「きく力」「ことば」を育て、地域社会とつながる学校



幼稚園部		小学部	中学部	寄宿舎
乳幼児教室 0歳～2歳	幼稚園部 3歳～5歳	相手に注目して聞き、自分の思いや考えを正しく伝え合う力を育む	他者と関わる中で、話す力や聞く力を育む	生活面での自立を育む
親子のかかわりの中で「聞く」「話す」楽しさを育む	あそびのなかで、コミュニケーションの基礎を育む	通級指導教室 小学生、中学生 自己と向き合い、よりよい学校生活を送るための力を育む		
相談室 0歳～18歳 「きこえ」や「ことば」に関するニーズに対応し、地域社会で生活する力を育む				
切れ目ない支援体制の構築				

「つながる活動」

【少人数だからこそできる「つながり」をいかした協働の学びのある学校】

○「チーム浜聴」での活動、「地域」との協働的な学びの充実
○教職員の協働による、効率的な業務の遂行

＜校内、交流園、交流校、幸自治会、静岡校・沼津校、地域図書館、地域ボランティア、学校運営協議会等＞

「つながる学び」

【「きくこと」と「ことば」を大切にした聴覚障害教育の専門性の向上と「分かる」授業を目指す学校】

○言葉を大切にした、伝え合い、学び合いのある授業づくり

＜校内、本校幼児児童生徒と乳幼児・通級生・相談室、通級生同士、静岡校・沼津校、卒業生や先輩ろう者等＞

「更なる連携」

【諸機関との連携を更に深め、県西部地区の「センター的機能」を発揮する学校】

○信頼を基にした支援の充実と積極的な情報発信、ニーズにこたえる支援の実施

＜幼保園、小学校、中学校、高等学校、浜松視覚寄宿舎、浜松医科大学病院、聖隷浜松病院、県立総合病院、乳幼児聴覚支援センター、居住地域、補聴器業者、行政機関等＞

【 目指す教職員像 】

それぞれの強みを生かし、チームとしてつながり合う教職員